

# 国際機関債オープン（為替ヘッジあり）

追加型投信／内外／債券

作成対象期間：2021年11月11日～2022年5月10日

第 133 期 決算日：2021年12月10日 第 136 期 決算日：2022年3月10日

第 134 期 決算日：2022年1月11日 第 137 期 決算日：2022年4月11日

第 135 期 決算日：2022年2月10日 第 138 期 決算日：2022年5月10日

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
当ファンドは、主要先進国通貨建の国際機関債を主要投資対象とし、各通貨の組入比率は、「参照金利」や「債券市場の流動性」等を基に決定します。さらに、外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかることで、安定したインカムゲインの確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行うことを目的としております。ここに運用状況をご報告申し上げます。  
当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

### 第138期末（2022年5月10日）

基準価額 7,792円

純資産総額 5,538百万円

### 第133期～第138期

騰落率 -10.4%

分配金合計<sup>(\*)</sup> 60円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

(\*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。


閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufg.jp/>

[ファンド検索] に  
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで  
閲覧およびダウンロード

 **MUFG** 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

### ■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用  
フリーダイヤル  **0120-151034**

(受付時間：営業日の9：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

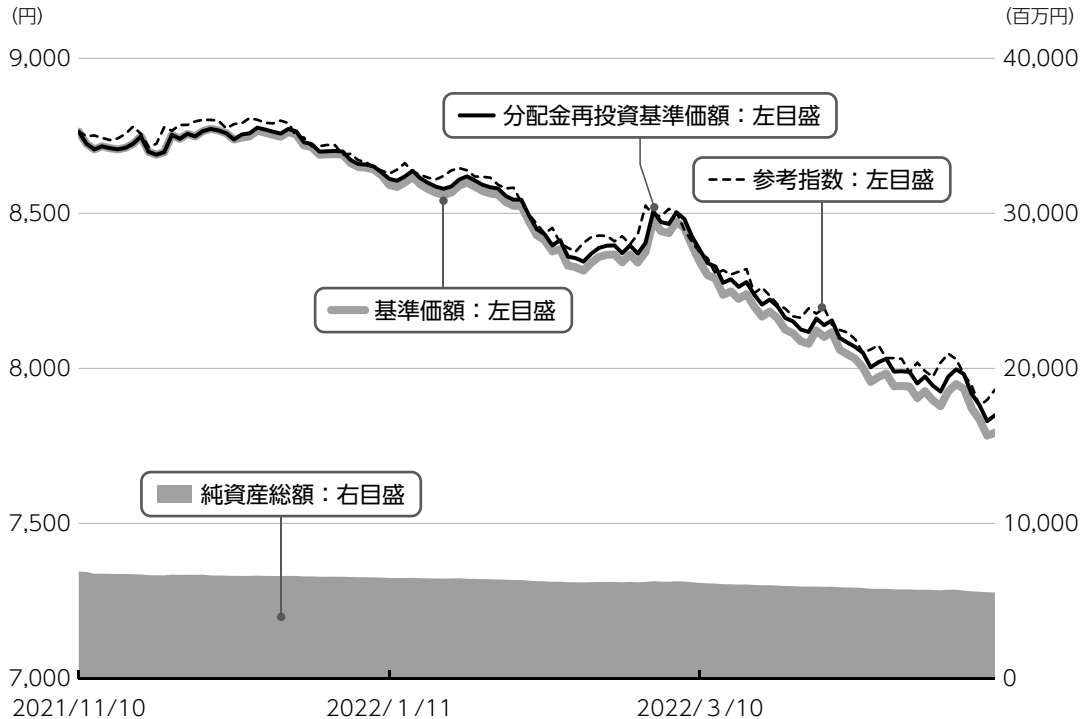
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

# 運用経過

第133期～第138期：2021年11月11日～2022年5月10日

## ▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第133期首	8,763円
第138期末	7,792円
既払分配金	60円
騰落率	-10.4%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

### 基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ10.4%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

### 基準価額の主な変動要因

#### 上昇要因

保有債券の利息収入を得られたことなどが基準価額の上昇要因となりました。

#### 下落要因

投資国で金利が上昇したことや、信託報酬など運用上の費用を計上したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

※参考指数は、ブルームバーグ グローバル総合：国際機関債インデックス（円ヘッジベース）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

※参考指数は、当作成期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

2021年11月11日～2022年5月10日

## 1万口当たりの費用明細

項目	第133期～第138期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	24	0.289	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(11)	(0.136)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(11)	(0.136)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.016)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.012	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.010)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合計	25	0.301	

作成期中の平均基準価額は、8,414円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

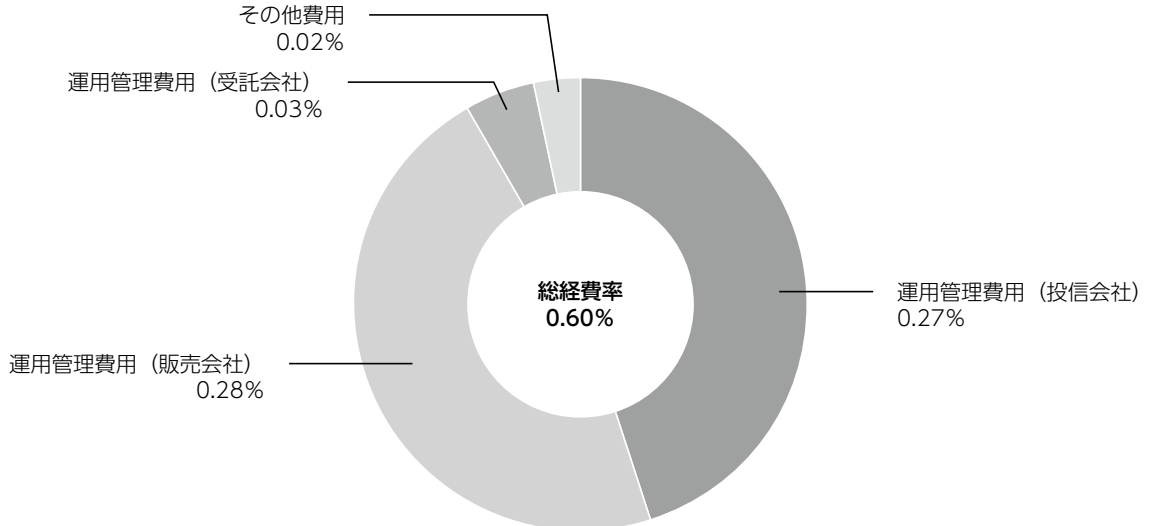
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## （参考情報）

### ■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成中の平均受益権口数に作成中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.60%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

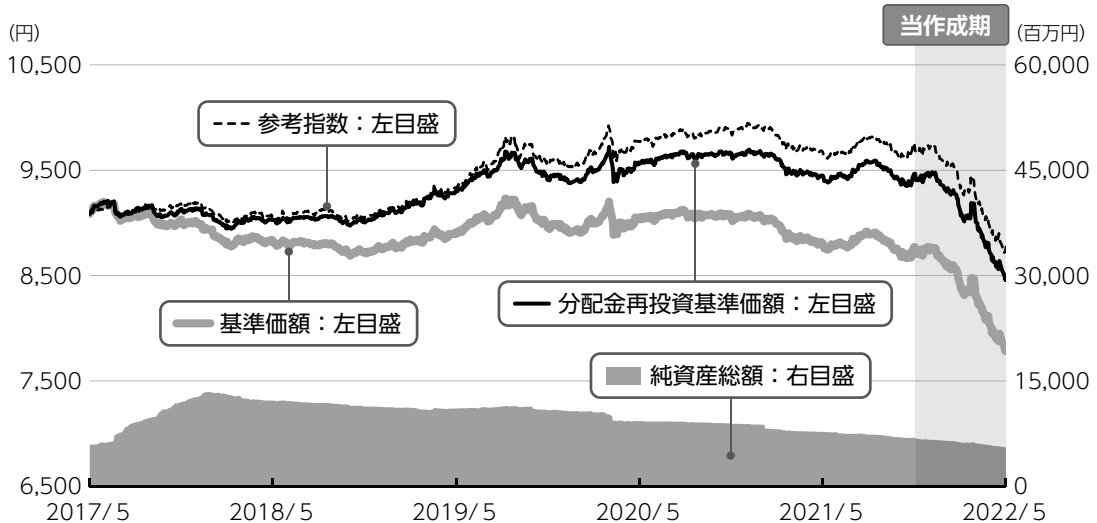
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2017年5月10日～2022年5月10日

## 最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額、参考指数は、2017年5月10日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。  
 ※海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

## 最近5年間の年間騰落率

	2017/5/10 期初	2018/5/10 決算日	2019/5/10 決算日	2020/5/11 決算日	2021/5/10 決算日	2022/5/10 決算日
基準価額 (円)	9,086	8,813	8,904	9,037	8,806	7,792
期間分配金合計 (税込み) (円)	-	215	175	120	120	120
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	-0.7	3.1	2.8	-1.2	-10.3
参考指数騰落率 (%)	-	-0.2	3.0	4.7	-1.0	-9.3
純資産総額 (百万円)	5,900	12,184	11,073	9,267	7,752	5,538

※ファンド年間騰落率は、参考指数年間騰落率と比較するため、収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

参考指数は、ブルームバーグ グローバル総合：国際機関債インデックス（円ヘッジベース）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

第133期～第138期：2021年11月11日～2022年5月10日

## 投資環境について

### 債券市況

#### 米欧長期金利は上昇しました。

新型コロナウイルスの感染拡大に起因する供給制約やウクライナ情勢を背景とした資源価格の上昇などを受けて、世界的にインフレ圧力が高まったことなどを背景に、米国を中心に複数の国で金融政策正常化の前倒し観測が高まったことから、米欧長期金利は上昇しました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

主要先進国通貨建の国際機関債を主要投資対象とし、国際機関債の組入比率は高位を保ちました。また、債券市場における流動性の確保およびデュレーション調整等の観点から、国債にも一部投資を行いました。

各通貨の組入比率は、参照金利（為替ヘッジコスト控除後の金利水準）や債券市場の流動性などを基に決定しました。その結果、ユーロ、米ドルなどの通貨の組入比率を高めとしました。

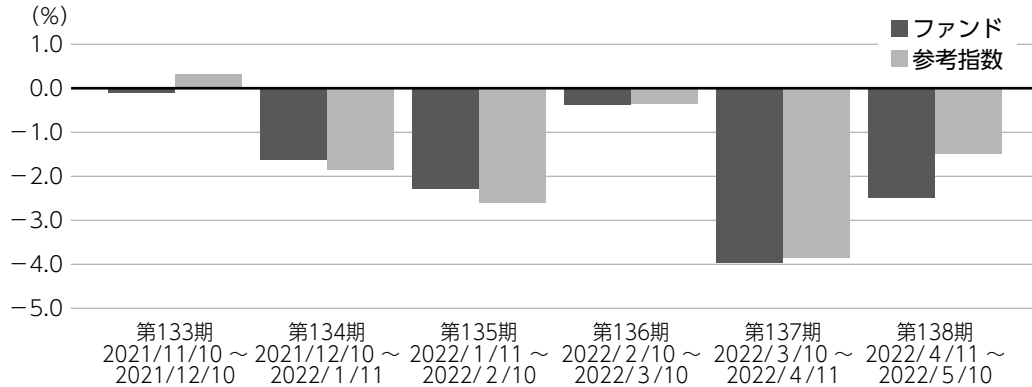
ポートフォリオでは、最上級格付であるA A格相当の債券を中心に組み入れを行いました。

外貨建資産については、為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかる運用を行いました。

第133期～第138期：2021/11/11～2022/5/10

## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

### 基準価額と参考指数の対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。上記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。

参考指数はブルームバーグ グローバル総合：国際機関債インデックス（円ヘッジベース）です。



## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

## 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第133期 2021年11月11日~ 2021年12月10日	第134期 2021年12月11日~ 2022年1月11日	第135期 2022年1月12日~ 2022年2月10日	第136期 2022年2月11日~ 2022年3月10日	第137期 2022年3月11日~ 2022年4月11日	第138期 2022年4月12日~ 2022年5月10日
当期分配金 （対基準価額比率）	<b>10</b> (0.114%)	<b>10</b> (0.116%)	<b>10</b> (0.119%)	<b>10</b> (0.120%)	<b>10</b> (0.125%)	<b>10</b> (0.128%)
当期の収益	4	5	4	4	6	5
当期の収益以外	5	4	5	5	3	4
翌期繰越分配対象額	200	196	191	185	182	177

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

引き続き、主要先進国通貨建の国際機関債を主要投資対象とし、流動性・投資環境等を考慮し、一部、主要先進国の自国通貨建の国債に投資するなどして、安定したインカムゲインの確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行う方針です。

各通貨の組入比率は、参照金利（為替ヘッジコスト控除後金利水準）や債券市場の流動性等を基に決定する方針です。

ポートフォリオでは、引き続き、最上級格付であるA A A格相当の債券を中心に組み入れを行う方針です。

外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。

# お知らせ

## ▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

## ▶ その他

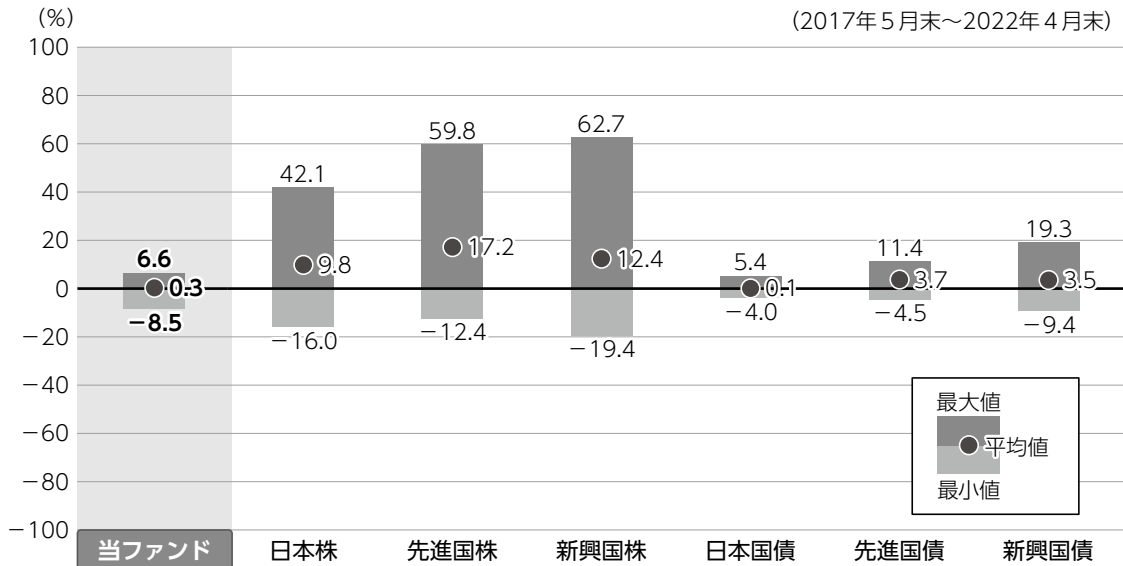
- ・該当事項はありません。

\*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。  
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）にて開示を行っている場合があります。

# 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	2027年3月10日まで（2010年11月15日設定）
運用方針	安定したインカムゲインの確保と信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	主要先進国通貨建の国際機関債 ※主要先進国は、原則としてOECD加盟国とします。
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要先進国通貨建の国際機関債を主要投資対象とします。</li> <li>・流動性、投資環境等を考慮し、一部、主要先進国の自国通貨建の国債に投資する場合があります。</li> <li>・外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。</li> <li>・各通貨の組入比率は、「参照金利」や「債券市場の流動性」等を基に決定します。</li> </ul>
分配方針	毎月10日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないこともあります。）

# ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2017年5月から2022年4月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

## 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）
日本国債	NOMURA-BPI（国債）
先進国債	FTSE世界国債インデックス（除く日本）
新興国債	JPMorgan Global Diversifund

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

# 当該投資信託のデータ

2022年5月10日現在

## 当該投資信託の組入資産の内容

### 組入上位10銘柄

(組入銘柄数：15銘柄)

	銘柄	種類	国・地域	業種／種別	比率(%)
1	0.25 IBRD 290521	債券	国際機関	特殊債	24.8
2	2.5 INTL BK RECON 241125	債券	国際機関	特殊債	21.7
3	0.625 EIB 290122	債券	国際機関	特殊債	10.6
4	0.75 EURO STABI 280905	債券	国際機関	特殊債	5.7
5	4.55 EUROFIMA 270330	債券	国際機関	特殊債	5.7
6	4.4 IADB 260126	債券	国際機関	特殊債	5.7
7	1.75 IADB 260825	債券	国際機関	特殊債	4.7
8	0.45 EUROPEAN U 410704	債券	国際機関	特殊債	3.8
9	0.7 EFSF 500120	債券	国際機関	特殊債	3.7
10	0.1 EUROPEAN U 401004	債券	国際機関	特殊債	2.8

※比率は純資産総額に対する割合です。

※原則、国・地域については、発行地を表示しています。

※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

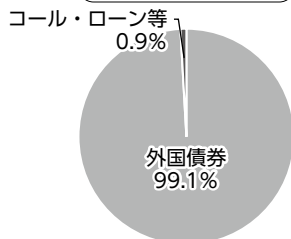
### 純資産等

項目	第133期末	第134期末	第135期末	第136期末	第137期末	第138期末
	2021年12月10日	2022年1月11日	2022年2月10日	2022年3月10日	2022年4月11日	2022年5月10日
純資産総額 (円)	6,604,178,781	6,472,646,549	6,234,272,199	6,151,477,190	5,829,570,669	5,538,977,273
受益権口数 (口)	7,552,488,695	7,533,981,289	7,435,683,315	7,373,866,503	7,284,933,395	7,108,931,598
1万口当たり基準価額 (円)	8,744	8,591	8,384	8,342	8,002	7,792

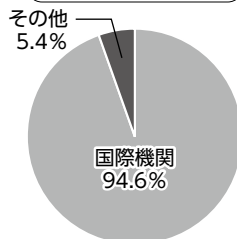
※当作成期間中（第133期～第138期）において追加設定元本は57,206,371円  
 同解約元本は815,282,261円です。

### 種別構成等

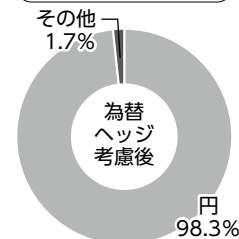
#### 資産別配分



#### 国・地域別配分



#### 通貨別配分



※比率は純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※原則、国・地域については、発行地を表示しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

# 指数に関して

## ▶ ファンドの参考指数である『ブルームバーグ グローバル総合：国際機関債インデックス（円ヘッジベース）』について

ブルームバーグ グローバル総合：国際機関債インデックスとは、ブルームバーグが算出する世界の投資適格国際機関債の値動きを表す指数です。

ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社（以下「ブルームバーグ」と総称します。）のサービスマークであり、三菱UFJ国際投信による一定の目的での利用のためにライセンスされています。ブルームバーグの指数はブルームバーグが算出し、配信し、販売するものです。ブルームバーグは、三菱UFJ国際投信の関係会社ではなく、ブルームバーグは、三菱UFJ国際投信が運用するファンドを承認し、是認し、レビューまたは推奨するものではありません。ブルームバーグは、ブルームバーグの指数に関連するいかなるデータまたは情報の適時性、正確性または完全性を保証するものではありません。

## ▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

### ● 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの数値及びTOPIXに係る標準又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標準又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

### ● MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ● MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ● NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

### ● FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

### ● JPMorgan Global Emerging Markets Diversified

JPMorgan Global Emerging Markets Diversifiedとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJ国際投信